



“創る旅”と“委ねる旅”の間にあるものとは!?



～ 人生も旅も、重なる部分を大切に ～

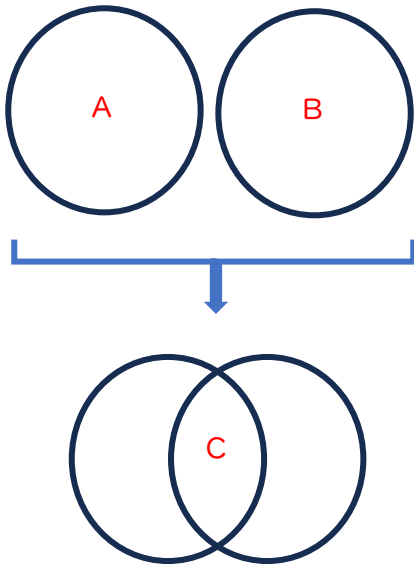
ヨーロッパでの放浪の旅から数年を経て、沢木耕太郎さんの『深夜特急』という本に出会いました。“旅”をテーマとしたノンフィクション作品で、自分が旅先で感じた空気感を的確に表現されており、今でも読み返すことがある本でもあります。(その洞察力には、驚くばかりです)

私が旅をしたのは、大学を卒業した後のことでしたが、「この歳で自分探し!?’とか、「同じ歳くらいの方は働いているのに!!」という言葉をかけられることもありました。そのたびに、自分の人生を否定されているような気がして、辛い思いをしていました。

しかし、『深夜特急』に出会えたことで、自分の人生を肯定されたような気持ちになりました。著者の沢木耕太郎さんが旅したのも 20 代半ばの頃で、その世界観と自分の世界観が重なることが多く、今でも自分の宝物となっています。

この夏、「第 34 回 愛知サマーセミナー2023」に参加し、沢木耕太郎さんの話を実際に聞く機会をいただきました。その時に印象に残っていた言葉を、ベン図を使用して紹介します。

※愛知サマーセミナー：20 年以上続いている、地域市民と学校とが結びついた市民参加型セミナーです。児童・生徒にとっても、貴重な学びの場となっています。
※ベン図とは、2つ以上の集合の関係や、集合の範囲を視覚的に図式化したものです。何かを比べたり、分類したりする時に便利な図です。



旅について考えると、今までは 2 種類の旅が存在すると考えていたそうです。(どちらの旅も魅力的で、優越をつけるものではありません)

A:【創る旅】自分でどこに行くか、何をするかを考えながら主体的に動く旅となります。(冒険の旅に近いものかもしれません)

B:【委ねる旅】事前に決められた目的や内容に関して、協力しながら動く旅となります。(ツアーの旅に近いものかもしれません)

しかし、最近になって、【創る旅】と【委ねる旅】とが重なる部分に、もう一つの旅が存在するようになったそうです。それは…

C:【辿る旅】誰かが旅したルートや場所に想いを馳せながら、自分で考えて動く旅となります。(巡礼の旅に近いものかもしれません)

この話を聞いた時、頭の中で点と点がつながった気がしました。「自分の旅は、これに近いのかも…」と気が付きました。

※生活の中で、A か B かで優劣をつけて考えることがあると思います。時にそれは、混乱や争いの種になることもあります。そんな時は、A と B の共通点や類似点となる C について、考えてみませんか!?

C の部分が見えてくると、新たな価値観や平和的に解決できる可能性が見えてくると感じています。沢木耕太郎さんの旅の話は、自分にもその視点を考えるきっかけを与えてくれました。

2 学期が始まった今だからこそ、みなさんにもその視点をもってもらえたらうれしいです。

トピック

「ユースホステルが教えてくれること」



みなさんは、“ユースホステル”という宿泊施設を知っていますか!?あまり聞いたことがない人もいますが、20代の頃から頻繁に利用しています。そもそも私の歳で“ユース=(若者・青年)”というのも不思議な感じですが、この場所での経験が、今でも自分の価値観に大きく影響を与えてくれます。今回の通信では、ユースホステルに対する熱い思いを、伝えさせてください。

【最初に】ユースホステルとは!?

ドイツ生まれの宿泊施設で、100年以上の歴史があります。約80の国と地域に約3,000か所の宿泊施設があり、日本にも約140か所のユースホステルがあります。「ユース」という名前がついていますが、お子様から年配の方まで、幅広い層が利用しています。値段が安いということもあり、長期の滞在をする旅行者にとっても利用しやすい施設となります。

参照:一般財団法人日本ユースホステル協会ホームページ

『20代の頃の自分』

特に、ヨーロッパを放浪した際に利用しました。2段式のベッドがいくつかあるタイプの部屋が多く、1泊1,000円程度で宿泊できます。自分と同じように放浪している人の利用者が多く、「この国では、こんな面白いことがあったよ!!」「この国では、ここに行ったほうがいい!!」というように、情報を交換したりしました。

また、いろいろな国の人と話すことで、様々な価値観に触れることができました。今の自分に、大きな影響を与えてくれた場所となりました。

『最近の自分』

最近、1週間くらいの滞在に利用しています。この夏も、屋久島へ行く際に利用しました。そこには個室もあり、家族旅行で利用する人や働きながら泊まっている人もいました。

談話室のような部屋があるので、屋久島の情報や人生観について毎日語り合いました。また、一緒に食事を作って食べたり、星を見に行ったりもしました。このように、世代や人種を超えた人とつながれることも、ユースホステルの魅力です。たくさんの気づきや発想をもらいました。

～ ユースホステルで出会った新しいライフスタイル ～

ユースホステルでは、様々な価値観や働き方をしている人に出会います。今回の旅でも、素敵な出会いがありました。そんな人たちを、一部紹介させてください。



Aさんの場合 みなさんは、「関係人口」という言葉を知っていますか!?そこに住む「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。Aさんは、それぞれの地域の自然に触れ、地域の方々と定期的に会いたくなるような関係を作る活動をしています。今回は、屋久島に数週間滞在し、学生と自然や人々をつなぐ活動をしているそうです。この活動に参加した学生は、自然体験や地域行事に参加をするなどの、貴重な時間を過ごすことができたと思います。

Bさんの場合 みなさんは、自分が働く姿をイメージできますか!?ユースホステルで会ったメキシコ人のBさんは、AIの仕組みをつくる仕事をしているそうです。長期休み(1年以上)を取得して、日本全国を旅しており、屋久島には2ヶ月以上滞在しているそうです。仕事の話をお聞きしたがらないので、あえて聞くことはしませんでした。時には思い切って休むことも必要だと感じました。「屋久島のユースホステルに宿泊している人と話す間に、日本語を覚えた」と、Bさんは教えてくれました。私もBさんから、人生の楽しみ方や新たな価値観を教えてもらった気がします。

参照:『関係人口』ポータルサイト - 総務省のホームページより